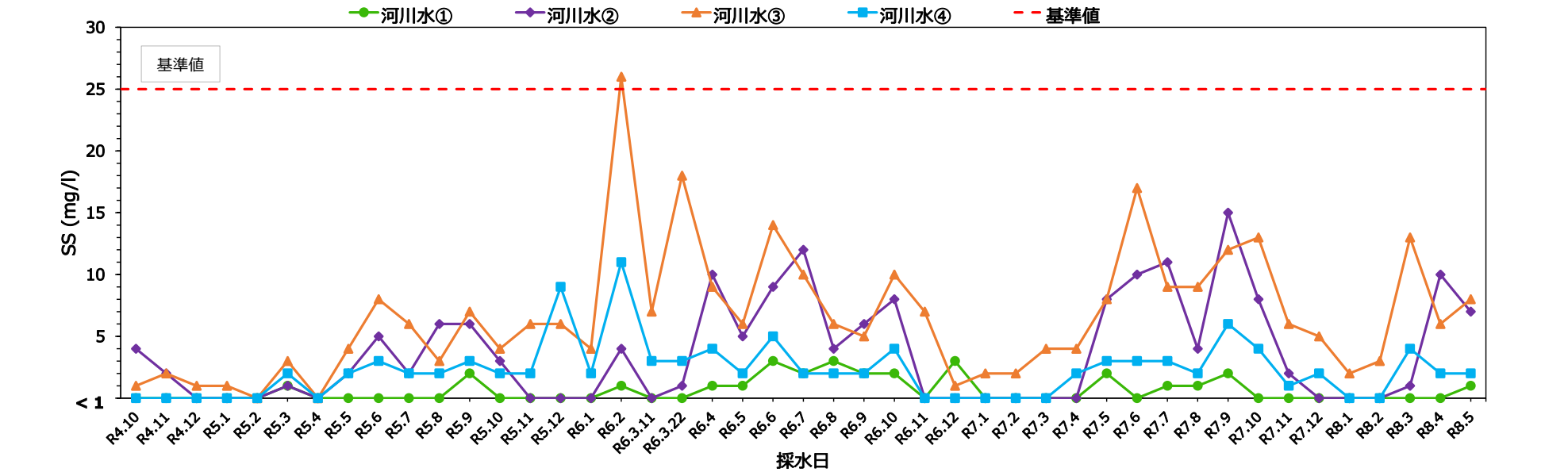


概要
令和8年5月の測定結果については、以下のとおりです。全ての地点で基準値を下回っておりました。

表:河川水の測定結果 測定業者:(株)東洋技研

測定地点	測定項目	採水日						環境影響評価調査時 (R2.5～R3.2で4回測定)				基準値※
		R7.12.19	R8.1.27	R8.2.20	R8.3.24	R8.4.22	R8.5.25	R2.5.13	R2.8.25	R2.10.19	R3.2.12	
河川水①	浮遊物質量(mg/l)	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1	1未満	1未満	1未満	1未満	25
	濁度 (度)	0.3	0.3	0.4	0.4	0.7	1.0	0.6	0.4	0.6	0.2	-
河川水②	浮遊物質量(mg/l)	1未満	1未満	1未満	1	10	7	1	3	4	1未満	25
	濁度 (度)	1.0	0.6	0.7	1.0	12.0	5.2	0.6	1.0	1.5	0.4	-
河川水③	浮遊物質量(mg/l)	5	2	3	13	6	8	1	4	2	1未満	25
	濁度 (度)	4.4	3.2	4.3	8.5	3.8	5.7	1.1	1.0	1.1	0.7	-
河川水④	浮遊物質量(mg/l)	2	1未満	1未満	4	2	2	2	1未満	1	1未満	25
	濁度 (度)	1.7	0.6	1.5	3.7	2.0	2.2	2.5	0.5	0.6	0.3	-

※ 日下川が水質汚濁に係る環境基準類型Aに指定されていることから、類型Aの浮遊物質量の環境基準値を採用。なお、濁度は環境基準値がありませんが、浮遊物質量と相関が高いことから、あわせて測定しています。



図：河川水の測定結果 (SS:浮遊物質量)

概要

令和8年5月の測定結果については、以下のとおりです。全ての地点で基準値を下回っておりました。

表:降下ばいじんの測定結果

測定業者:(株)東洋技研

測定地点	測定項目	測定期間（1か月毎）						環境影響評価調査時 ^{※1} (R2.2～R2.11で4回測定)				基準値 ^{※3}
		R7.11.25～ R7.12.19	R7.12.19～ R8.1.27	R8.1.27～ R8.2.20	R8.2.20～ R8.3.24	R8.3.24～ R8.4.22	R8.4.22～ R8.5.25	R2.2.25～ 3.25	R2.4.20～ 5.19	R2.9.18～ 10.19	R2.11.2～ 11.30	
粉じん①	降下ばいじん (t/km ² /月)	0.59	0.46	0.47	0.39	1.41	0.79	1.14	1.90	0.30	0.56	10
粉じん② ^{※2}	降下ばいじん (t/km ² /月)	1.00	0.82	0.67	0.83	2.29	1.12					

※1 長竹公民館付近で測定。

※2 令和5年4月から測定。

※3 環境影響評価時に定めた参考指標（工事用車両の運行に係る降下ばいじん量の参考値。出典：「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版）」（国土交通省 国土技術政策総合研究所 平成25年3月））

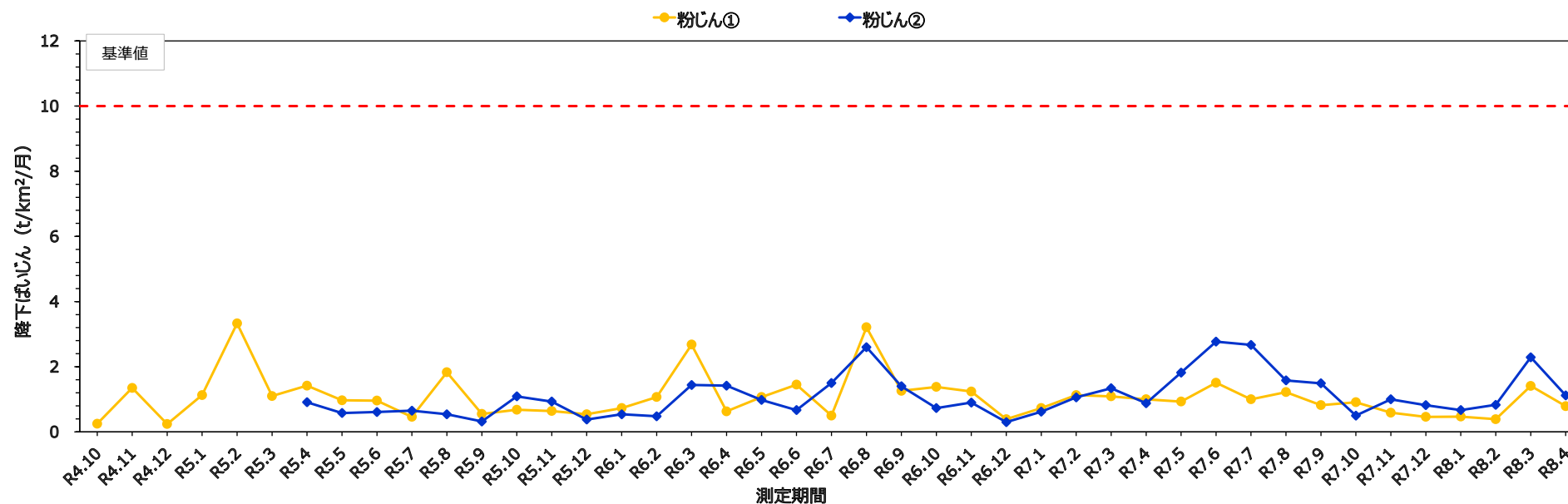


図: 降下ばいじんの測定結果